

---

# 付属資料

---

岡谷市基本構想及び前期基本計画策定の経過

岡谷市基本構想審議会条例

岡谷市基本構想審議会委員公募要領

岡谷市基本構想審議会委員

岡谷市基本構想審議会に対する市長の諮問

岡谷市基本構想審議会から市長に対する答申

市民等の意見募集（パブリックコメント）に寄せられた意見

岡谷市議会基本構想審査特別委員会委員



## 岡谷市基本構想及び前期基本計画策定の経過

年 月 日	説 明
平成19年 8月	市民アンケート（1,000人対象）
10月26日	総合計画策定庁内委員会及びプロジェクトチーム発足 以後、策定委員会を14回、プロジェクトチーム会議を10回開催
12月	職員（保育所、病院含む）アンケート
平成20年 1月	各種団体アンケート
1月7日	行政管理委員会において計画策定基本方針を決定
2月	市政懇談会（市内5カ所）
2月27日	第1回総合計画策定市民フォーラム
2月29日	第2回総合計画策定市民フォーラム
3月4日	第3回総合計画策定市民フォーラム
3月6日	第4回総合計画策定市民フォーラム
3月10日	第5回総合計画策定市民フォーラム
3月12日	NPO・ボランティア情報交換会
3月	まちなかアンケート（市内2カ所）
3月18日	第6回総合計画策定市民フォーラム
4月22日	第7回総合計画策定市民フォーラム
5月9日	第8回総合計画策定市民フォーラム
6月20日	岡谷南高校生徒会まちづくり意見交換会
7月7～9日	総合計画の庁内ヒアリング
7月12日	岡谷市リーダーズ倶楽部意見交換会
7月23日	第9回総合計画策定市民フォーラム
7月31日	第10回総合計画策定市民フォーラム
8月12日	行政管理委員会において総合計画（案）決定
8月25日	岡谷市基本構想審議会委員委嘱 第1回基本構想審議会開催（第4次総合計画の諮問） 市議会全員協議会開催
8月26日～	パブリックコメント（～9月30日）
9月24日	第2回基本構想審議会開催
10月2日	第3回基本構想審議会開催
10月7日	第4回基本構想審議会開催
10月16日	第5回基本構想審議会開催
10月23日	第6回基本構想審議会開催
11月4日	第7回基本構想審議会開催
12月5日	基本構想を市議会へ議案提出 市議会基本構想審査特別委員会設置 第1回基本構想審査特別委員会開催 基本構想審査特別委員会へ付託（市議会閉会中の継続審査となる）
19日	第2回基本構想審査特別委員会開催
平成21年 1月 7日	第3回基本構想審査特別委員会開催
9日	第4回基本構想審査特別委員会開催
16日	第5回基本構想審査特別委員会開催
19日	第6回基本構想審査特別委員会開催
22日	第7回基本構想審査特別委員会開催
1月26日	第8回基本構想審査特別委員会開催
2月2日	第9回基本構想審査特別委員会開催
2月20日	基本構想市議会で議決



## 岡谷市基本構想審議会条例

昭和52年6月25日

条例第19号

(設置及び所掌事項)

第1条 岡谷市の施策に関する総合的かつ基本的な計画について、市長の諮問に応じて必要な事項を審議するため、岡谷市基本構想審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 審議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、知識経験者のうちから市長が委嘱する。

(委員の任期)

第3条 委員は、第1条に規定する市長の諮問に係る審議が終了したときは、その任期を終るものとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長2人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(部会)

第6条 審議会は、必要に応じて委員で構成する部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、会長の指名する委員がこれに当たる。

4 部会長は、部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(事務局)

第7条 審議会の事務局は、総務部企画課に置く。

(昭和53条例11・昭和60条例3・平成18条例1・一部改正)

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。



## 岡谷市基本構想審議会委員公募要領

### 1 目的

この要領は、市政の意思形成過程に市民等が直接参加する機会を確保するため、岡谷市の施策に関する総合的かつ基本的な計画について、市長の諮問に応じて必要な事項を審議することを目的に設置した岡谷市基本構想審議会の委員を市民等から公募することに関し必要な事項を定めるものとする。

### 2 公募委員の数

委員総数15人のうち公募による委員は3人とする。

### 3 委員の任期

審議会の設置規定に定める任期とし、8月下旬に予定する市長の諮問から審議が終了する日まで。(8月下旬から11月初旬を予定)

### 4 応募資格

公募により委員に応募できる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 応募日現在で他の審議会等の委員となっていない者
- (2) 本市の特別職及び常勤の一般職員並びに議員でない者

### 5 応募方法

応募しようとする者は、応募申込書(様式1)に必要な事項を記入のうえ、小論文を添えて企画課へ提出するものとする。

### 6 小論文のテーマ

「岡谷市のまちづくりについて」(800字以内)

### 7 周知方法

岡谷市ホームページ、行政チャンネル、地元新聞紙への記事掲載

### 8 募集期間

7月1日(火)～7月18日(金)

### 9 その他必要事項

特になし



## 岡谷市基本構想審議会委員

(五十音順)

委員長	中 村 俣 明	岡谷市区長会
副委員長	笠 原 新太郎	岡谷市民憲章推進協議会
副委員長	宮 坂 秀 子	岡谷市社会教育委員
	井 口 光 世	岡谷市地域福祉支援会議
	小 口 直 美	一般公募
	小 口 博 正	岡谷商工会議所
	小 口 光 子	岡谷市女性団体連絡協議会
	河 西 万里子	一般公募
	谷 口 久 雄	岡谷市衛生自治会連合会
	成 澤 富美子	岡谷市PTA連合会
	林 勝 利	一般公募
	林 健 一	諏訪圏青年会議所
	羽 山 幸 良	勤労者(帝国ピストンリング株)
	三 澤 勝	岡谷市連合壮年会
	山 岡 晴 男	岡谷市消防団



20企第21号  
平成20年8月25日

岡谷市基本構想審議会  
会長 中村 俣 明 様

岡谷市長 今井 竜 五

諮 問 書

岡谷市基本構想審議会条例第1条の規定に基づき、第4次岡谷市総合計画基本構想及び前期基本計画について諮問申し上げます。

平成20年11月4日

岡谷市長 今井 竜 五 様

岡谷市基本構想審議会  
会長 中村 俣 明

第4次岡谷市総合計画基本構想及び  
前期基本計画について（答申）

平成20年8月25日付企第21号をもって貴職から諮問されました第4次岡谷市総合計画基本構想及び前期基本計画について、本審議会は慎重審議の結果、別添のとおり答申いたします。



(別 添)

激動する社会・経済環境のもと、地方分権の進展により地方自治体は自主・自立の運営を求められていますが、岡谷市は、国の三位一体の改革などの影響を受け、厳しい行財政運営を強いられていると思います。その一方で、市民が行政に求めるニーズは年々多様化し、複雑化してきています。岡谷市独自の特色あるまちづくりと安定した財政基盤の確立に、市民は高い関心と大きな期待を寄せています。

市民の行政への関心を広く喚起し、市民総参加のまちづくりの理念をあらためて問いかけ、より多くの市民が共有するように努めながら、市民起点のまちづくりを力強く推進する段階へと進んでいく必要があります。

このような中で諮問された第4次岡谷市総合計画は、行政全般にわたりさまざまな基本的施策が示され、期待感を持てるところですが、厳しい財政状況の中では、選択と集中により事務事業を実施せざるをえないと思います。その点、前期基本計画重点プロジェクトとして、「たくましい産業の創造」と「輝く子どもの育成」を掲げ、今後の施策展開の重点を明確に示していることは評価できます。具体的な事務事業を明らかにする実施計画を市民にわかりやすく提示し、市民の理解と協力を得てその推進を図るよう要望いたします。

また、行政にはスピードある対応と施策展開が求められています。前例踏襲や組織の縦割りの考え方にとらわれることなく、柔軟な発想で施策を立案し実施するようお願いいたします。

本審議会では慎重に審議を重ねた結果、市民の幸せな暮らしの実現と、岡谷市のより一層の発展を願い、次のとおり意見・要望を添えて答申といたします。

## 意見・要望等

### 基本構想について

1. 岡谷市民憲章の精神を基本理念として掲げ、市民総参加によりまちづくりを推進するよう要望いたします。
2. 将来都市像については、「元気に輝く」「たくましい」という都市像のイメージが市民に明確に伝わるよう、よりていねいな説明が必要と思います。
3. 計画スタート時の5万3千人を維持する将来人口は、現在の人口推移からすると高い目標とも考えられますが、産業振興をはじめ安心して子どもを生き育てられる環境づくり、医療の充実などの施策を効果的に展開し、人口の定着を図るよう要望いたします。
4. 土地利用の構想では、企業立地のために土地利用の転換を進める中にありましても、快適な生活環境の確保と地域の均衡ある発展に配慮されますようお願いいたします。
5. まちづくりの基本目標はわかりやすい表現になっていますが、「前期重点プロジェクト」と「総合計画の推進に向けて」については、施策の体系図の中で、わかりやすく表現されるよう工夫をお願いします。

### 前期基本計画について

#### 《全般的事項》

1. 目標指標について、数値目標を設けたことは評価できますが、施策内容と合致していないものが多く見られます。前期5カ年の基本計画にふさわしい、施策全体の成果を表すような指標の設定が必要と思います。



2. 前段で述べたように、厳しい財政状況の中では事業を選択し、集中して実施せざるをえないと思います。しかしながら、厳しい環境にあっても夢を持ってまちづくりを進める意図や方向性が明確に市民に伝わるような対応をお願いします。

### 《基本目標1「魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち」》

1. 前期重点プロジェクトである、「たくましい産業の創造」に関する施策の推進は、困難を伴う課題ではありますが、安定的な行財政基盤確立のためにも強く要望いたします。
2. 産業振興施策の推進にあたっては、民間と行政の役割分担を明確にし、産学官の連携をより強めていくことが必要と考えます。
3. 工業振興では、市内企業に波及効果を与える企業等の誘致に努めるよう要望いたします。
4. 商業振興では、市街地ににぎわいを生む魅力的な活性化施策を継続的に実施することを要望いたします。

### 《基本目標2「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」》

1. 健康づくりの推進については、市民の健康づくりが効果的に推進されるよう、多くの市民が参加できる仕組みづくりの検討をお願いします。
2. 病院事業では、医療環境の変化に柔軟に対応しながら、市民に親しまれ信頼される病院となるよう、めざす方向を明確に示し、医師不足や経営の安定化などさまざまな課題の解決を図り、統合新病院の具現化を進めるよう要望いたします。
3. 前期重点プロジェクトである「輝く子どもの育成」のため、行政と地域が一体となった子育て支援の取り組みを早期に充実するよう要望いたします。
4. 地域サポートセンターについては、地域福祉の推進はもちろん地域コミュニティをより活発にしていける面からも、設置の促進と支援を行うようお願いいたします。

### 《基本目標3「自然環境と暮らしが調和した、安全・安心のまち」》

1. ごみの減量と資源化を推進するとともに、早期のごみ処理施設整備に努めるようお願いいたします。
2. 平成18年7月豪雨災害の教訓を活かし、災害発生時の情報提供に万全を期するとともに、河川改修や砂防えん堤の設置促進など施設面の防災・減災対策を進められるよう要望いたします。
3. 生活安全対策として、関係機関と連携した食の安全に関する情報提供や啓発などを施策に盛り込む必要があると思います。

### 《基本目標4「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」》

1. 青少年の健全育成のため、家庭、学校、地域の連携を深めるとともに、健全な環境づくりと青少年活動の推進を要望いたします。
2. 製糸に始まるものづくりの伝統など、岡谷市独自の歴史、文化の継承と発展に特に力を入れて取り組まれるよう要望いたします。また、学校教育においては、特色ある学校づくりの推進をお願いいたします。
3. 子育て支援の充実の観点から、また女性の社会参加や労働力確保という産業振興面からも、学童クラブの拡充を含めた、子どもの放課後の居場所づくりを要望いたします。

### 《基本目標5「快適に生活できる、都市機能の充実したまち」》

1. 土地の狭隘さを考慮して、居住・福祉・医療・教育など、さまざまな機能を集積したコンパクトな市街地の形成を図るよう要望いたします。特に、市民の関心の高い岡谷駅から市役所周辺の中心市街地の整備について、具体的な施策の展開を期待いたします。





2. 人口定住対策として、空き家の活用を検討するよう要望いたします。
3. 子どもたちがのびのびと遊び、高齢者も憩える身近な公園の充実を進めるようお願いいたします。

### 《総合計画の推進に向けて》

1. 「市民総参加のまちづくり基本条例」の市民へのより一層の周知を図るとともに、行政と市民の役割分担のもと、協働により施策が推進されるよう要望いたします。
2. 市民へのわかりやすい情報公開に努め、より開かれた市政運営を推進するようお願いいたします。
3. 民間の経営手法を積極的に取り入れるとともに、行政評価システムを活用して検証と見直しを行い、効率的な施策の推進をお願いいたします。
4. 近隣市町村と連携し効率的・効果的な行政運営を推進するよう要望いたします。

## (参 考)

### 審議の際に出された主な意見・要望等

#### 序論

- ・計画全体を示すピラミッドのイメージがわかりづらい。基本構想の重要性が伝わらないのではないか。
- ・ピラミッドの中に基本目標を示したらわかりやすいのではないか。
- ・「(5)地球規模の環境問題」の文末表現がそろっていない。

#### 基本構想について

##### 【基本理念について】

- ・市民憲章は基本理念としては良いのではないか。
- ・憲章をそのまま理念として書かずに、違う言い回しにしてはどうか。
- ・憲章文そのままではなく、「市民憲章の精神を基本理念として」はどうか。
- ・基本理念の中で安全・安心という意味が表現として希薄になっている。憲章文そのままなので安全・安心の表現がない。ストレートに表現するなど字句を見直してもらいたい。
- ・市民憲章の「公害」の言葉は疑問もあり、修正する時期ではないか。
- ・市民憲章の見直しで、「人間尊重」を「互いを尊重し合う」とできないか。
- ・市民憲章はマンネリになっていると思うが問題ないのではないか。

##### 【将来都市像について】

- ・都市像は、わかりやすく市民にも覚えやすいので良い。
- ・「都市」から「まち」に変わったことは大事で、市民に理解されるよう表現を考えてほしい。
- ・いろいろな意味が入っているので、市民にどれだけ理解されるかわからない。
- ・前文に都市像の内容をしっかり付け加えないと意味が伝わらない。都市像につながる説明が必要ではないか。
- ・公約と似ており、10年間のスローガンとしては違和感がある。
- ・市長の思いが強く根底にあるということで良い。
- ・市民憲章の「都市」を基本目標と同じ「まち」にできないか。

#### 将来人口の想定

- ・年齢構成も考慮した人口維持のための具体的な施策が記載できれば良い。
- ・5万3千人が良い悪いではなく、具体的にどんな手が打てるか、中身次第ではないか。



- ・人口維持や増加には、環境や医療など産業以外の施策も必要ではないか。
- ・住宅価格の問題で市外へ出る人がいる。小規模土地の分譲など具体的に載せてはどうか。
- ・基本となる人口がぶれると他のいろいろな計画に対するぶれが出るので堅めに見るのが良くないか。
- ・将来人口の棒グラフからは人口を増やすねらいや生産に携わる人、年少者を増やすニュアンスが読み取れない。
- ・3千人を増やすことは困難で、現実にそぐわない。5万人がより良い暮らしができる目標が良いのではないか。
- ・実現可能な線より、努力する目標を設定した計画の方が良いのではないか。
- ・すぐ届くようなものだと目標にならない。
- ・宅地造成や環境整備したにもかかわらず人口が減少する理由の分析が必要ではないか。
- ・「出生率の低下」を人口減少の最大の要因とするのは、子どもの産めない女性にはきつい表現ではないか。
- ・実際に働く人口を生産年齢人口ととらえてはどうか。
- ・人口の年齢別区分のグラフがわかりづらい。

## 土地利用の構想

- ・地域別と目的別を一体とした区分の方が良いのではないか。
- ・農地に関する記述が少ないのではないか。農振農用地域以外に農業を守る記述がない。
- ・駅南開発は金額を多額に投入したが付加価値を生んでいない。投資対効果を見る必要がある。
- ・「企業立地の推進のため土地利用の転換に努めます」は工業のために農地をなくすように聞こえる。
- ・北部・中部・南部という分け方には違和感がある。
- ・地域別に「整備推進」を示すと「他の地域ではやらないの」との疑問が出る。

## まちづくりの基本目標

- ・厳しい状況の中、我慢すべきは我慢する姿勢が計画に出ても良いのではないか。
- ・前期重点プロジェクトを含めて系列が上手くできていない。客観的にみてわかる説明が必要ではないか。
- ・「計画の推進に向けて」も政策だから6番目の目標と位置づけた方が良い。
- ・いろいろな基本目標の最後に「推進」とくるのは違和感がある。
- ・前期重点プロジェクトの位置づけや意味についての説明が足りない。表現の仕方を工夫すべき。
- ・用語解説のページが離れて見づらい。見やすいようにコラム形式で差し込むのはどうか。
- ・NPOの用語解説の英字つづりの誤りがある。
- ・総合計画は、動きの激しい時代なのでエキスにして、実施計画などで具体的に示したほうが良いのではないか。
- ・ボリュームがあるがために、読んでもらえないこともある。

## 前期基本計画について

### 《全体を通して》

- ・全体的に、目標指標の設定が施策の全容を表すのに適当でないものが多い。
- ・目標指標を盛り込んだことは意義があるが、施策内容と合致していないものが目につく。適当な指標がなければ出さないほうが良い。
- ・全体的に夢がある感じで書かれているが、市民の自助努力と市のできる事が明確に分かれている。市民総参加のまちづくりを計画の前の方に書いて、市民も自助努力が必要だということを示さないと、市がすべてをやってくれると思う人が多いのではないか。
- ・今やっていることの延長を計画にあげていて、新しいものがあるという計画の作りになっていな



い。5年10年の計画なので先の姿を考えることが全体に足りない。

- ・「情報提供に努めます」とあるが、いろいろな提供の仕方があり、具体的に記載があれば良い。
- ・市民の理解と協力を得て、まちづくりへの積極的な参加と行動を促進するため、市政運営の指針を明確に示すべきではないか。
- ・計画にはわくわくする期待感をもたせる文言が多く、現在の厳しい状況では、できないものが、計画ではできるよう印象を受けてしまう。前段の部分で、実際には厳しい財政状況の中で優先順位をつけ、取捨選択が必要だ、などと示すべき方向性をしっかり書いた方が良い。
- ・優先順位をつけて、あれもこれもではなく、あれかこれかという形で進めていくことが、計画の表現だと市民に伝わらない。
- ・従来から継続している施策と新たに力点をおいて取り組む内容を明確にすべきではないか。
- ・目標指標・数値の記載内容に、意図のわからないものが多いので再検討すべきではないか。

## 《基本目標1「魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち》

- ・現状と課題では海外へのシフトなど平成2年頃の記述がある。示している表でも同じ視点が必要となるのでは。
- ・工業振興は時代の流れから困難な課題であり、行政には限界がある。
- ・工業振興は市で問題を提起し、民間主導で方向性を探る必要がある。
- ・市内の多くの零細企業に下請けの仕事が来るような大企業を誘致しないと岡谷の活性化はできない。
- ・民間と行政のやることの仕切りが大切であり、企業誘致など民間にできないことを行政がやるべきである。
- ・企業誘致に、固定資産税の減免や上下水道料金の割引きなど費用面のメリットを計画に盛り込めないか。
- ・「スマートデバイス」の供給基地など理解している零細企業は少ないのではないか。
- ・民間の取り組みの集積が地域の産業構造であり、行政が具体的に表現するのは止めた方が良い。
- ・市内の小さい企業の情報を公開し、市内で受注開拓に活用できるようにすれば良い。
- ・行政の企業誘致のメリットと企業の求めるものに齟齬がある。広域で検討・対応しては。
- ・粗付加価値額の目標は、目的に合致するか疑問であり指標も数値を丸めてはどうか。
- ・中心市街地にばかりに目を向け、地域に密着した郊外の大型店撤退などの施策が余り感じられない。
- ・商業の活性化には、歩いて、楽しみ、物を買うといった付加価値化が必要ではないか。
- ・市民をまちなかへ呼び込むためには、魅力的な活性化施策をこまめにやっていかないといけない。
- ・商業では、後継者対策、ララオカヤ、中央通りの3つの問題に特に注意していく必要がある。
- ・商業プラス・アルファで大胆に商業施設・医療介護モール・居住区などの複合化を考えても面白い。
- ・高速道路のSAから出られるようにして、湊地区に道の駅を造れば活性化できると思う。
- ・製糸遺産も生かした国際自転車レースを市内で開催し、岡谷をPRしてはどうか。
- ・製糸工場跡地などに案内板、ベンチなど整備し観光に喜ばれるまちに。
- ・農林業では「食の安全」に触れられていない。基本目標3の安全・安心のまちづくりにも関連してくるのでは。
- ・農業や漁業には産業として捉えるだけの規模や基盤があるのかと思う。そこへのパワーを工業や商業振興につぎ込んで生かした方が良いのでは。
- ・農地を再利用することは必要だが、業としてではなく余暇やリクリエーションとして貸し出してはどうか。
- ・技術専門学校は諏訪に比べて時間や内容が少ない。もう少し勉強できる場所もほしい。
- ・外国人雇用対策としてスーパーや標識に外国語標記をしてはどうか。



## 《基本目標2「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」》

- ・健康づくりの推進はライフステージごと区切り、優先順位の高い課題を並べて、それに対して目標を設定してはどうか。
- ・健康づくりに市民が参加する仕組みづくりをしないと計画が成り立たない。市民総参加の健康づくりの方法を考えてもらいたい。
- ・「保健委員会」など団体の活動が知られていないので用語解説に入れてはどうか。
- ・特定検診の受診率を上げるために、国のペナルティを計画に示しては。
- ・健康増進計画はわかりやすい。広報等で親切、丁寧に啓発することが大切ではないか。
- ・予防対策の推進、母子保健の充実、医療体制の充実の目標指標は再考すべきではないか。
- ・新型インフルエンザの危機管理について、不安に思っていたので力強く思った。
- ・新型インフルエンザや東海地震対応では、市でできることは限られているが、知らない人が多いので、広報等で知らしめてはどうか。
- ・病院事業で、大学からの派遣で先生が変わるが、医師が代わらない病院を望む。
- ・病院統合の方向に動いているが、どんな病院にしたいのか、計画を読んでも伝わりにくい。他の地域の方々にも利用される病院になれば良い。
- ・病院統合が、医師不足や赤字経営などの緊急課題にどう結びつくか説明不足ではないか。
- ・塩嶺病院の特科部門は、今後も継続できるような体制が必要ではないか。バレーボールのまちづくりでも、ひとりの人に期待したり負担がかかってはいけない。
- ・地域サポートセンターの設置促進の思いが伝わらない。市全体のイニシアティブ取るような方法を考え、文章に記述すべきではないか。
- ・サポートセンターの設置は、老老介護の現状があり、お互いに体制が息詰って進まない。行政に頼るのではなく、受益者負担で公平性を持っていくべきと考える。
- ・地域サポートセンターの目標指標は、5年10年の目標ではなく、いち早く全区やるよう加速すべき。
- ・10年後のシミュレーションの上で施策をつくっているのか不安。民生児童委員に頼るのではなく、それに変わる仕組みが必要。一般論的なものでなく具体的なものを入れてほしい。
- ・人材の育成が重要だと考える。素晴らしい人材を後押し下支えすることを入れたら良い。
- ・団塊の世代の社会進出が地域サポートセンターにつながれば良い。
- ・国民健康保険、市立病院、メタボ健診を市が行い完結する。これらをシステムでデータを活用して保険料や医療費の削減につながれば良い。
- ・高齢者福祉の推進で、要介護認定率を指標にする気持ちはわかるが、現実的でないと考える。
- ・防災ラジオでラジオ体操を流して健康づくりをしてはどうか。
- ・自己管理に血圧計購入に補助してはどうか。
- ・H i bワクチン接種の補助を他に先駆けて実施し、子育てにやさしいまちをPRし、人口増につなげてはどうか。
- ・各区に医師を派遣して予防接種をして接種率を上げてはどうか。
- ・母子保健の充実の目標指標が「むし歯のない子の割合」という局部的な捉えはどうか。
- ・高齢者福祉の目標指標が「要介護認定率」がいきなり出るが、介護予防への取り組みとの関連をわかりやすくつなげた方が良い。
- ・温泉を生かした宿泊施設や温泉ランド的な多くの人々が利用できるものがほしい。
- ・子育て支援の充実、保健医療の充実、生涯学習の推進、国際理解の醸成にも関わり、組織内・組織外の横の連携が重要ではないか。
- ・子育て支援センターとサポートセンターが連携して、一時的に子どもを預かる場所を充実してほしい。



### 《基本目標3 「自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち」》

- ・高齢化で防災無線やメールでの検索願が増えている。火災の対応でも高齢化に必要な具体的な施策を掲げて良いのではないか。
- ・ごみ減量、資源化をすれば最終処分場の延命につながることを、施策にどう反映されているのか検討いただきたい。
- ・緑のカーテン事業は効果があるのなら中途半端な目標でなく全市的に取り組むべきではないか。
- ・「自然とのふれあい」は目標3の環境でなく、目標4の学校教育、青少年健全育成に付け加えた方が良いのではないか。
- ・民間の公衆浴場活性化は、市の管理する複数の施設で対応可能ではないか。
- ・災害時の情報発信・管理に踏み込んだ記載が必要ではないか。豪雨災害の経験を形にする施策を求める。
- ・治山治水事業は簡単ではないが、目標指標を入れて岡谷市独自の事業を推進すべきと考える。
- ・偽装問題等で食の安全が揺らいでいる。生活安全対策の推進に施策として記載すべきではないか。
- ・地球環境の目標指標の緑のカーテン登録件数はいかがか。工夫があれば良い。
- ・バイオマスエネルギー、ビオトープ、アダプトプログラムなど用語解説はあるが、市民に馴染みのない言葉がでてくるので検討いただきたい。
- ・環境と公害について、中小企業にもできる範囲の目標を立てて工業振興からも連携をとってはどうか。
- ・自然と共生するまちづくりでは自然が破壊される。人を入らせない方法はとれないか。
- ・企業でも紙のリサイクルでごみ減量している。一般ごみも分別を継続してやれば良い。
- ・防災無線で火災の出動先や災害の状況など放送してはどうか。
- ・緊急地震速報を民間が情報を希望した場合に流すようなビジョンを持ってはどうか。
- ・学校付近の道路での時間の通行規制等していても、違反車が多い。スクールゾーンとしない理由を調査し、小学校の登下校の安全のためにスクールゾーンの設置を検討してはどうか。

### 《基本目標4 「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」》

- ・図書館、学校図書館の整備をお願いしたい。
- ・新学習指導要領に伴い小学校での外国語授業への対応をお願いしたい。
- ・不登校児童への対応を改めて見直していただきたい。
- ・前期重点プロジェクトに「輝く子どもの育成」を掲げるので、学校や図書館の整備を、今までと同じ流れでなく変えていくべきと思う。
- ・学校間格差をなくし、ボランティア精神を子どもの頃から教育してほしい。
- ・学齢期の生活習慣については、健康推進課などと連携を図って進めてほしい。
- ・各分野に長けた年配の方を学校教育に取り込んでいただき、教育とは違う側面で社会教育をしてほしい。
- ・子どもの放課後の居場所づくりとして、学童クラブの対象年齢の拡大などをお願いしたい。また、学童クラブと並行して子どもの居場所をつくっていくことをお願いしたい。
- ・外から見ると岡谷には他と違う文化があるといわれる。採算性だけでは解決できないソフトの部分を大事にしてほしい。
- ・岡谷のカノラホールや諏訪の野球場など、ひとつの自治体では重荷になるため、連携や枠組みを考える必要があるのではないか。
- ・製糸関係の建物など、岡谷を拠点に下諏訪や上諏訪も一連のものとして考えてはどうか。
- ・近代化産業遺産の建物を巡るなど、文化を継承する知識や誇りを持つことも必要で、学校教育の中に取り入れてもらいたい。
- ・バレーボールのまちづくりは、監督が代わってチーム力が落ちてしまった。これからも進めてい



く施策として入れるべきかどうか。

- ・外国籍児童について日本人と同じように教育することが、外国人が増える中で必要で課題のひとつだと思う。
- ・祖父母へ孫の今時の育て方の教育を、生涯学習の講座などで親と同じ目線でやっていけるようにしてほしい。
- ・スポーツ文化の振興で、よそから岡谷に来てくれることを考えなくてはいけない。総合的に岡谷を全国にPRする何らかの施策が打ち出されるべきではないか。
- ・学校教育の充実の指標は、不登校児童ではなく学校施設整備とすべきではないか。
- ・特色ある学校づくりや国際理解、情報、環境教育などを他と関連付けて具体的な実施計画につながることを期待する。
- ・多文化共生は重要な施策であり、観光やサービス業と関連づけた施策の検討を望む。
- ・中学校の制服についてデザインや素材を検討していただきたい。
- ・不登校の子どもでも卒業資格をとれるような対応を望む。
- ・学校や公民館のパソコンソフトが古いので時代に合ったものにしてほしい。
- ・安全・安心の教育で、子どものパトロール隊への補助と隊員増の活動、啓蒙をお願いしたい。
- ・青少年の健全育成の指標が野外活動センター利用者というのもいいが、ほかに代表する指標があるのではないか。
- ・こどものくにはについては子育て支援の面からもさらに充実させ、できれば歯科衛生士や保健師、栄養士を配置していただければありがたい。
- ・やまびこトレーニングセンターをもっと活用していけば、健康推進にもなるし、保健医療関係にも役立つ。また、カノラホール、蚕糸博物館については、もっと宣伝していただきたい。
- ・カノラホールでコンサートがあるとき、やまびこで健康講座があたり、横川の土手で花見ができたり、ツアー的に関連付けてはどうか。
- ・市史の編集で、委員を決めて積極的に取り組んでいただきたい。
- ・エースドッジボールの大会が小学生だけの行事になってしまった。市民みんなで楽しめるよう力を入れてほしい。
- ・高齢者のスポーツのひとつの施策として、マレットゴルフの位置づけを高めて普及を図ってほしい。
- ・外国籍児童の学校授業について市役所や学校等一カ所に集めて専門に日本語や文化の教育をしてはどうか検討していただきたい。
- ・10年前にも同じ話しをしたが、旧庁舎、現消防庁舎を歴史的価値や立地条件から美術館等に生かせないか。
- ・婦人会も高齢化し後に続く人がいない。団塊の世代より若い人が行事に参加するようにしなくてはならない。
- ・生系に関連した岡谷の特異な文化や歴史の話しを募集してはどうか。
- ・教員住宅は、民間アパートの借上げ補助や教員優先の市営住宅などできないか。
- ・各学校に分散している外国人児童を集めて定期的な特別教室を開講できないか。
- ・岡谷をロボットのメッカにできないか。
- ・岡谷をスポーツ選手の合宿のメッカにできないか。
- ・工業振興のために理数を専科とする優秀な先生の配属等を県に働きかけられれば良い。
- ・イルフ童画館、蚕糸博物館・美術考古館の活用は、イベント等の企画立案を市民や民間に委託してはどうか。
- ・国・県・市が指定した文化財を市のホームページに公開してほしい。

## 《基本目標5「快適に生活できる、都市機能の充実したまち》

- ・企業誘致でも目標を示し情報公開することで、市民と同じ方向に向かっていくことができる。目標を出すということは怖いリスクもあるが公開すべきではないか。
- ・まちの活力を高める市街地整備として、中央通りを元気にする小さなグループがあり、そうした



努力を目玉に何とかできる方法はないか。

- ・市街地開発で10年かけて何かをやるうとしたとき、無理な場合には撤退する勇気も必要ではないか。
- ・中心市街地の都市機能の誘導、集積では、福祉・教育・医療など市内の横の連携が必要ではないか。
- ・商業的に10年の計画の中で、縦割り行政の弊害をどう越えていくかが非常に大きな課題。弊害を越える組織づくり、体制づくりを望む。
- ・中心市街地の整備は市民の関心が高いが「検討」の範囲で具体策が見えない。
- ・ICバイパス周辺に商業施設が進出する気配がなく、岡谷の玄関として打つ手はないか。
- ・住居を中心に駅が近い、買い物ができる、医療がある、学校があるといった複合整備が必要ではないか。
- ・空き家を活用しようとする小さな動きに目を向けてほしい。
- ・4,000戸もある空き家を有効に使わない手はない。空き家の活用により、市営住宅も要らないのではないか。
- ・空き家を活用したい人や貸したい人への、開かれた相談窓口を作っていただきたい。
- ・目標指標の居住面積は不適切ではないか。
- ・郊外に団地ができるが、つながる道が細いままである。新しい計画の中でもう一度検討していただきたい。
- ・道路工事が終わると路面がお椀型になり、乳母車も車椅子も通れない。そういうところに力を入れてほしい。
- ・道路工事で10年の中でやるので、半年止まってしまう。一度にやっしまえば良い。
- ・シルキーバスも地球環境といった観点を前面に出して利用促進を図ってはどうか。
- ・街路樹は、景観上はともかく温暖化からも重要で、一般にもっとPRできないか。
- ・街路樹も諏訪湖のアダプトプログラムのように市民総参加で管理ができないか。
- ・都市緑化の推進の目標指標の「プランターの数」はいかがなものか。
- ・観光行政で、将来を見通して岡谷の素晴らしい環境を謳歌しながら、遠くの方々にも楽しんでいただく計画もぜひ理解いただきたい。
- ・公園整備で、従来子ども重点の公園から高齢者対象の公園への転換を望む。
- ・公園の整備で、市民参加の管理や身近な公園の整備、既存公園の機能充実の具体的な内容を記述すべきではないか。
- ・JR高架下全線をゲートボール場などにできないか。

## 《総合計画の推進に向けて》

- ・市民総参加で、まちづくり基本条例の言葉が入っていない。市民も知らない人が多い。一節盛り込んでどうか。
- ・ニーズの把握のため市民の声を聞くのは結構であるが、それを具現化していくのは行政の責任ではないか。
- ・基本条例があること自体市民が知らない。総参加で参加せよといっても気持ちにギャップがある。
- ・意見を聞くのも、専門性の高い人の意見を行政に反映させることが必要ではないか。
- ・各種団体が自立するため、事務局を切り離しているが、進め方によっては市民総参加という方向性と逆になるのではないか。
- ・各種団体が活性化し、共に歩み、パートナーシップの協働の関係の中で協力していただきたいことが、文章から読み取れない。
- ・区に対する育成を相当述べても良いのではないか。単純にコミュニティと一般的に述べているが、具体的に述べた方が良いのではないか。
- ・岡谷市は区と行政が特異な関係にあり、行政から見れば有難い関係ができている。岡谷の特質としてクローズアップして取り上げてはどうか。



- ・「まちづくりの主役は市民」という表現は気になる。まちづくりの責任は行政にあり、市民は参画し、支え、協力するというレベルの域を出ないのではないか。
- ・なんでもかんでも市民総参加というのはどうか。市民が総参加のイメージをどういう形で捉えているのか。市民の総意だから合併をやめるとするのは納得いかない。
- ・市民総参加の理念は良いが、押し付けるとかえって逃げてしまう部分もある。違う謳い方や表現の仕方がないか。
- ・民間経営手法の導入で、市を運営することは大事で、具体的な内容を入れてはどうか。
- ・受益者負担の適正化では、市民一人当たりの負担額をわかるように説明すれば納得する。
- ・行政組織には弊害があり、縦割りや慣例主義がある。文章の中で、弾力的・柔軟とか効率的ではなく、もう少し明確な形で打ち出した方が心強い。
- ・合併以外でも手を組めることがいっぱいある。できるだけ連携して取り組んでもらいたい。
- ・「合併していたら、これはどうしたんだろう」という発想で、病院や体育施設、文化施設を考えることが大事ではないか。
- ・経済の世界にはボーダーがなく、日本という発想がない。岡谷市レベルでものをいうのは時代遅れというくらい、世の中は変わっているがどうか。
- ・若い人たちは、買い物でも食事でも、岡谷市という発想がなくなっている。
- ・窓口の対応や迅速な対応などソフト面の形が施策に出ていない。意識改革に対する施策をソフト面で載せてもらいたい。
- ・行政がスピードをもってやっていくことが大切。後手に回らないよう、スピードをどうつけるかが課題ではないか。
- ・合併を考えても、行政として伝えなければいけない情報がある。地域の将来を考え判断できるような情報提供を付け加えていただきたい。
- ・従来業者に委託していた計画を自分たちで作ろうというのは、大きく変わって素晴らしいことだと思う。
- ・市民が職員に要求するのと同じレベルに市民も意識を変えなければいけない。市民も努力するが、行政も変わるということを是非お願いしたい。
- ・総合計画の推進に向けては、5つの基本目標の上にくるものではないか。基本目標を達成するための大前提であると考え。
- ・意見を聞くのにも団体役員など同じような顔ぶれが多い。市民に説明する場を設けなければいけない。
- ・市民総参加の目標指標の「延べ参加者数」は、200人というレベルなので、一部の声しか上がってこない。
- ・総合計画に謳うことで市民に総参加が浸透すると思う。単純に一人ひとりが参加して、まちづくりしてもらえれば、経費がかからなくなる。
- ・工業振興で、土地の売買に補助や税制面の控除などできないか。工業用地を売るときの施策ができないか。
- ・病院の企業会計は非常に難しい。わかりやすい形で情報を出すことが必要ではないか。
- ・カノラホールやスワンドーム、諏訪市の野球場など素晴らしい施設を一緒に使うことを考えなくてはいけない。
- ・シルキーバスの運行を電車に合うように改善されたい。
- ・施策展開のP181の図とP18、P19の計画推進の図を組み合わせて、視覚的にわかりやすい図表にしてはどうか。





## 第4次岡谷市総合計画に対して寄せられた意見（パブリックコメント）

1	<p>1 子育てについて 未満児（0～2歳児）保育を受け入れている保育園が少ないので改善をしてほしい。</p> <p>2 ララについて 総合産業振興施設という位置づけをとれば良いと思う。</p> <p>3 土地開発について 岡谷は供給不足なので、ニュータウンを開発することも必要ではないか。</p> <p>4 市民病院移転について 保健センターや図書館などとの併設で利便性を高めながらも経費削減を図ったらどうか。</p>
2	<p>初めてフォーラムに参加させていただき、市長さんの考え、部長さんのお話、又課長さんの説明等、先日届けられた冊子が難しいの一言だったのですが、少しばかりですが、分かった部分もあり参考になりました。モニターだからという事ではなく、幅広い層の方々にもっともっと意見を聞いていかれることを望みます。</p> <p>本当に様々な事を考えている方がいることを知れたことで、私自身も、もっと関心を持っていきたいと思いました。有難うございました。</p>
3	<p>人口流出防止のためにも、企業誘致は欠かせないと思いますが、既存の企業流出を止めるためにも努力をしてほしい。ある企業主の話で、「住宅地で仕事をしているが、環境面と広さで、他へ移りたい。零細企業の団地等があればよいと思っている。」と悩んでいました。空き工場の敷地利用など何らかの対策は必要と思われます。</p> <p>また勤労者福祉のため、勤青ホーム廃止など公共施設のあり方で連婦会長がいったように、後退のないよう考慮されたい。</p> <p>またスポーツ振興で管理者制で後退のないよう、活力ある、元気な岡谷市にしていただくようお願いしたい。</p>
4	<p>環境をベースにして問題点を考える。これからは目標を達成するために、環境の立場から考えたり、見たりしていきたいと思います。</p>
5	<p>仕事と子育てのできる環境というが、企業側にその環境を整えてもらわないと不可能な面もある。（中小企業の苦しい事情もありますが）行政からも折にふれ企業側理解を求める努力をしてほしい。</p>
6	<p>工業・産業の振興を最優先にするお考えは大賛成ですが・・・現に大手企業が流出してしまっている状況で、どうやって誘ってこられるのか。市民がどのように関わっていったらよいのか。疑問です。</p> <p>医療体制の充実・・・医師の確保は勿論ですが、看護婦・看護師の指導も必要と思われます。対応の良い人悪い人様々です。また、科によっては待ち時間が長く、何とかならないかとの声が聞かれます。</p>
7	<p>私に何か参加できることはないか考えています。</p> <p>フォーラムにはいつも同じ顔ぶれで、もっと一般市民に知らしめる方法を考えたいと思います。「市民総参加」の言葉も、もう聞き慣れすぎて軽い感じですが、一人が必ずどこかに参加する。どこに「私は参加する」と申告してもらおう。募集する。それを一年間経った所で反省し、報告してもらおう。どんな小さなことでもよい。ボランティアなど、申告をすると責任を感じてやれると思います。リタイヤした男性に特に参加してもらいたい。女性は色々な会でボランティアしています。</p>



8	<p>市民にわかりやすくするため、官民協働のプロジェクトとして、産業プロジェクト、福祉プロジェクト、環境プロジェクト、教育プロジェクト、都市空間プロジェクトというのをつかって、行政と民間のネットワーク化・市民有志の参加促進をしたらどうか。プロジェクトをつくることで、プロジェクトに関連する部署が集まって目標達成に向けて動くため、縦割りにならないのではないか。</p>
9	<p>体の不自由な人（子ども）にとって岡谷の街が住み良くなること、それこそ魅力的な事だと思う。福祉でも何でも。</p>
10	<p>非の打ちどころのない立派な計画だと思いましたが、高齢化が進む中でこれを実現するための財源はどうなっているか知りたいと思った。 夜が人口53,000人でも、昼間の人口は60,000人近くにできないものか。例えば新病院に優秀な医師を招いて、がん専門の病院にするとか、ホスピス病棟を増やして県内外からも患者を受け入れるとか、看護学校のような特殊な専門学校をつるとか。 東洋のスイスといわれる地の利を生かして特殊な技術を持った人たちを育てました。そのような若者が働く場所を得て結婚をし、子どもを増やし、定着してくれる町になってほしいと思いました。</p>
11	<p>市民フォーラムに参加し、防災と医療部門が黄信号で、財政が赤信号だと感じました。 以前市町村合併にかなりの時間と投資をしたが、実現できず残念です。昔に比べ交通・情報が便利になっているので再度進めるべきです。 食品の包装・容器は種類が多く、ほとんどリサイクル可能の表示となっているが、実際はまだ対応できていないようなので、これも回収できればかなり減量できる。 高齢化が進んでいるが、スポーツや芸術・文化活動、ボランティア活動などが活発になれば自然に人との交流が盛んになり、ひいては町が活性化するので高齢者の力も活用すべきと思います。</p>
12	<p>長期にわたる岡谷市総合計画は市民各々が市民参加の意識を高めていくことが必須条件だと思います。 基本目標に掲げる全ては一人ひとりの力があって成り立っていくもの。市民参加なくしては「輝くたくましい岡谷」の実現はないと感じます。 市政懇談会、市民フォーラムに参加する市民は市政に関心のある方で、自主的に参加されない方の意識をどのように高めるかが問題。岡谷は地域内のつながりは強いものがある。「家庭ごみ有料化」の説明のようにきめ細かい懇談が必要。 総合計画の策定に携わった方々の努力に感謝したい。</p>
13	<p>2 - 3 観光の振興について 受入体制の整備が必要。 宿泊施設や食事出来る場所を充実させる。旧ヘルシーパル等を有効活用できないか。姉妹都市との交流をもっと盛んにする方策を検討する。 9 - 2 治山・治水事業の推進について 18年の災害の経験から「災害に強い森林づくり」の必要性を強く感じる。2 - 4の「岡谷市森林整備計画」とリンクさせた活動の推進を図る。 9 - 3 生活安全対策の推進について 交通安全施設の整備・・・国道20号の長地小以東の歩行者の安全確保（一部歩道が狭く側溝部分だけでガードレールもない）</p>



## 岡谷市議会基本構想審査特別委員会委員

委員長	花岡健一郎
副委員長	田中肇
委員	征矢久
〃	鮎澤美知
〃	横内正
〃	今井康喜
〃	齋藤美恵子
〃	横内東洋雄
〃	三沢一友
〃	笠原征三郎

## 第4次岡谷市総合計画

発行日 平成21年

発行 岡谷市

編集 岡谷市企画政策部企画課

イラスト 武井武雄（1894～1983）岡谷市出身の童画家。鳥をモチーフにした作品を数多く描く。